当院で転移性集合管癌の全身薬物療法を受けられた患者さんへ

（臨床研究に関する情報公開）

当院では以下の研究を行います。過去の診療で得られた情報と病理標本を利用します。
研究のための新たな検査や治療は行いません。お問い合わせや利用を拒否したい場合は、
下記窓口へご連絡ください。協力を拒否しても診療上の不利益はありません。
当院の診療情報は香川大学へ、中央病理判定のための病理標本と病理情報は愛知医科大学へ
提供します。研究用の番号で管理し、お名前等との対応表は当院で保管します。
試料・情報の利用または提供の開始予定日：研究実施許可日

研究機関名：JA北海道厚生連　帯広厚生病院
　　研究責任者　　泌尿器科　主任医長　山田　修平

【研究課題名】
全身薬物治療を受けた転移を有する集合管癌症例に対する後ろ向き研究

【研究の目的】
集合管癌は腎臓にできるまれながんで、転移がある場合の標準的な薬物療法はまだ確立されていません。本研究では、国内の複数施設で過去に薬物療法を受けた患者さんの診療情報を集め、治療選択の実態、有効性および副作用を調べます。また、専門の病理医による中央病理判定で診断を確認し、今後の治療選択に役立つ情報を得ることを目的とします。

【研究の方法】
●対象となる患者さん
病理検査で集合管癌と診断され転移があり、2015年1月1日～2025年12月31日に当院で全身薬物療法を開始した18歳以上の方。

●使用する試料・情報の項目
基本情報：年齢（生年月日）、性別、既往歴。診断時情報：診断時期、病期、診断方法、病理診断。治療開始時：全身状態、身長・体重、原発巣、転移部位・臓器数、血液検査。薬物療法：使用薬剤、治療開始・終了日、治療効果、進行の有無・確認日、中止理由。安全性：副作用の内容・重症度、減量・休薬・中止。追加治療：腎摘除・転移巣切除・放射線治療の有無と時期、病理所見。転帰：生存状況、死亡日または最終観察日。中央病理判定：既存病理標本、免疫染色標本、病理レポート・画像、判定結果。

主幹：香川大学医学部泌尿器科学 加藤琢磨（087-891-2202）。共同機関は別紙参照。
【研究実施期間】
倫理審査委員会承認日～2031年3月31日
【個人情報の取り扱い】
研究用の番号を付け、お名前・住所・カルテ番号等を除いて診療情報を提供します。
病理標本・病理情報も研究用の番号で管理します。研究成果は学会や論文で発表しますが、
患者さんを特定できる情報は公表しません。研究計画や資料は窓口へお問い合わせください。

試料・診療情報の利用・提供を希望されない方は下記窓口へご連絡ください。当院ホームページの「臨床研究登録拒否通知書」は、当院3階事務室内 医事課 倫理審査委員会事務局へご提出いただけます。

＜問い合わせ・連絡先＞
〒080-0024
北海道帯広市西14条南10丁目1番地
JA北海道厚生連　帯広厚生病院
　　研究責任者　　泌尿器科　主任医長　山田　修平
電話：0155-65-0101（平日：8時 30 分～17 時 00 分）

＜臨床研究登録拒否通知書　送付先＞
〒080-0024
北海道帯広市西14条南10丁目1番地
JA北海道厚生連 帯広厚生病院
3階事務室内 医事課　倫理審査委員会　事務局